

廣岡

山

早

結

淨寫

校合

校合

件名簿
登錄

發自

長官

次官

事務課副長

起案

事務課長

課長

七月十二日

勸業會社司理由額字府申出因人工業賣買入
金別送諸事義同司意見由務用相成可然
生去其由指令案の即不穩當ノ意有之限有
右之修正案、且つ之所高氣候也

由指令案 會社司理在之要存之

書面因人工業賣買入代會社司理ノ操替
後方ノ義ハ難及詮議候条其増本年度因
獄費より支辨ノ置キ漸次收入益金より該

二百八十號

洋 軍 省

實入差継候様可取計事

但詳細ノ義ハ會計局ハ協議可致事

明治十九年七月廿八日

會計局ハ通牒

例文 普第一八二號、三

十九年七月廿八日

第四卷第一〇号ノ書

囚人ノ產業器具買入費用ノ義付
新守府申書進書

囚人ノ產業器具買入代トシテ
別途ニ申付ル義別紙ノ通ニ奉
結守府ノ上申ニ奉付ル
之者囚人ノ就役ノ業ノ際ニ
之方課金ノ要ニ付
逐次收金ノ要ニ付
其ノ却テ
免カレヤン義付
費用ノ要ニ付
其ノ申付十五年度

普第一八二號ニ

二番八十八番



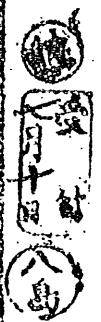
而欲費中。以支病之。而之于海。次收
 入。蓋多。可以可。其。于。陸。拂。三。計。核。
 方。美。際。完。稅。上。便。利。之。可。以。行。自。
 本。方。有。方。安。未。一。題。可以市。裁。主。在。
 年。安。就。有。即。十。候。府。上。由。出。進。也。
 考。方。比。每。上。係。付。也。

海軍領川右統義殿

上申之趣 上掌果具 羅人方之 義我

す所、柔共府本年度四款其多
以支辨し而して、海次收入多し
ヲ以て費入多し、残り多し、
事」

但、洋細く、多し、
可成整理す



此等事は其の如き事なり

興業費に其の爲に其の如き事なり

中

一、此等事は其の如き事なり

如、課税、其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

其の如き事なり

明治二十一年

二月九日

工度入此上為剩餘之金額ハ本
年七月より毎月工業振益報
告書ヲ附立月々此の調出額ハ本
府工區納付の順に付交する所ナ
る額外途興業費トシテ口外納付成
度此旨ナリ此付也

十五年

海軍省庶務課長

中ノ

海軍中尉木村福寛

海軍省庶務課長

海軍中尉木村福寛

海軍省庶務課長

因工業器具買入代掻替渡り義



前書通本村等因課長申出工業
 益金ノ内ヨリ買入方々存存
 創業ノ際未タ持てお新設ふ故に
 自ラ之ニ可宛益金と云々申出
 金額出際多計局を操轄後亦成
 度而して返納を裁い毎月末益金
 漸く日局へ返納を成し御許にお成
 致度此後副申仕り也

東海殖守府金受入理

十五年六月廿八

海軍大佐福島敬典

海軍卿川村純義殿

二百九十一
海軍

主入才二百三十一号ノ三

海軍省

1319